

頁	新	旧
表紙	<p style="text-align: center;">土木工事標準積算基準</p> <p style="text-align: center;">〔 I 〕</p> <p style="text-align: center;">（総則・共通工・河川）</p> <p style="text-align: center;">令和5年10月1日</p> <p style="text-align: center;">令和6年4月1日一部改正</p> <p style="text-align: center;"><u>令和6年11月15日一部改正</u></p> <p style="text-align: center;">福島県土木部</p>	<p style="text-align: center;">土木工事標準積算基準</p> <p style="text-align: center;">〔 I 〕</p> <p style="text-align: center;">（総則・共通工・河川）</p> <p style="text-align: center;">令和5年10月1日</p> <p style="text-align: center;">令和6年4月1日一部改正</p> <hr/> <p style="text-align: center;">福島県土木部</p>

土木工事標準積算基準（令和6年11月15日一部改正）新旧対照表

頁	新	旧
<p>第I編第2章 ②工事費の積算</p> <p>I-2-②-2 (①12)</p>	<p>(2)端数処理</p> <p>1)単価表及び内訳書の各構成要素の数量×単価=金額は1円までとし、1円未満は切り捨てる。</p> <p>2)冬期歩掛補正(第I編第2章②3.(8))や時間的制約を受ける場合(第I編第7章①)などの労務費の補正については、特に定めのある場合を除き、補正後の労務単価は、1の位を四捨五入し10円単位とする。</p> <p>3)共通仮設費の率計上の金額は、<u>1,000円未満を切り捨てし、1,000円単位とする。</u></p> <p>4)現場管理費の金額は、<u>1,000円未満を切り捨てし、1,000円単位とする。</u></p> <p>5)工事価格は<u>10,000円単位とする。工事価格の10,000円単位での調整は、一般管理費等で行うものとし、「第I編第3章一般管理費等及び消費税等相当額(①一般管理費等)」で算出された一般管理費等の計算額より、端数処理前の工事価格の10,000円未満の金額を除いた額を計上する。</u></p> <p>① 12</p> <p>I-2-①-2</p> <p>令和6年11月15日以降起工適用</p>	<p>(2)端数処理</p> <p>1)単価表及び内訳書の各構成要素の数量×単価=金額は1円までとし、1円未満は切り捨てる。</p> <p>2)冬期歩掛補正(第I編第2章②3.(8))や時間的制約を受ける場合(第I編第7章①)などの労務費の補正については、特に定めのある場合を除き、補正後の労務単価は、1の位を四捨五入し10円単位とする。</p> <p>3)工事価格(本工事、附帯工事等一括発注の場合、費目ごとの工事価格。)は1,000円単位とし、1,000円未満は切り捨てる。</p> <p>① 12</p> <p>I-2-①-2</p>